

臨時レポート

ブラジル：大統領選は右派ボルソナロと左派アダジの決選投票へ

HSBC投信株式会社

2018年10月9日

- ▶ 10月7日(日)のブラジル大統領選挙の第1回投票では、いずれの候補者も過半数の票を獲得できず、上位2名の右派ボルソナロ下院議員(社会自由党、PSL)と左派アダジ元サンパウロ市長(労働者党、PT)との決戦投票へ
- ▶ 第1回投票ではボルソナロ氏が予想以上に大きくリード、市場ではボルソナロ氏勝利を望む声が多い。

第1回投票ではボルソナロ氏が予想以上にリード

ブラジル大統領選挙第1回投票結果	
	得票率
ボルソナロ(下院議員、PSL)	46.0%
アダジ(元サンパウロ市長、PT)	29.3%
ゴメス(元セアラ州知事、PDT)	12.5%
アルキミン(元サンパウロ州知事、PSDB)	4.8%

決選投票へ

出所:ブルームバーグのデータをもとにHSBC投信作成
開票率99%時点

- ▶ 10月7日(日)に実施されたブラジル大統領選挙第1回投票では、開票率99%時点で、右派のジャイル・ボルソナロ下院議員(社会自由党、PSL)の得票率が46.0%、左派のフェルナンド・アダジ元サンパウロ市長(労働者党、PT)が29.3%、同じく左派のシロ・ゴメス元セアラ州知事(民主労働党、PDT)が12.5%、中道右派のジェラルド・アルキミン元サンパウロ州知事(ブラジル社会民主党、PSDB)が4.8%となっています。いずれの候補も当選に必要な過半数を獲得できず、大統領選出は、ボルソナロ氏とアダジ氏の上位2名による10月28日(日)の決選投票に持ち越されます。
- ▶ 第1回投票ではボルソナロ氏が予想以上に大きくリードし、決選投票でボルソナロ氏の勝利を見込む向きが増えています。しかしながら、世論調査では、ボルソナロ氏は不支持率も高く、決選投票の結果はなお予断を許さない状況にあります。また、両氏ともに議会基盤は強くなく、今後は3位以下の候補者をいかに取り込むかも重要となります。

- ▶ 右派のボルソナロ氏と左派のアダジ氏とでは、政策に関する発言内容にかなり違いが見られます。ボルソナロ氏はより市場寄りであり、例えば、全ての国営企業の売却・民営化を主張しています。また、ボルソナロ氏は市場原理を重んじる著名な経済学者パウロ・ゲデス氏を政権獲得後の財務相に指名する意向を示しています。ゲデス氏は、財政健全化を志向し、年金および税制の見直しなどの構造改革を支持しています。一方、ルラ元大統領に代わり労働者党(PT)の大統領候補となったアダジ氏は、歳出上限法(歳出の伸び率を前年のインフレ率以下に制限)や労働改革の見直しを提案、累進課税を支持しています。市場では、アダジ氏勝利となれば財政規律が緩むとの懸念も見られます。

当社の見方

- ▶ ボルソナロ氏の第1回投票での得票率は予想を上回るものであり、決選投票で市場寄りのボルソナロ氏勝利となれば、短期的にはさらにブラジル市場には追い風になることが見込まれます。
- ▶ 一方、左派のアダジ氏勝利を市場は警戒していますが、例えばアダジ氏はサンパウロ市長時代に保守的な財政運営を行った実績もあります。また、今後、アダジ氏は浮動票獲得のために、より中道寄りへと発言が傾斜する可能性があり、これが市場で好感されることも考えられます。
- ▶ いずれにしても次期政権の具体策を確認するまでは慎重に見るべきと考えます。ブラジル経済にとり最大かつ喫緊の課題は社会保障制度改革を通じた財政健全化であり、新政権がいかにこの問題に取り組み、具体策を示すかが、中長期的なブラジル市場の見通しにとり鍵となります。

留意点

投資信託に係わるリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としており、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動し損失が生じる可能性があります。従いまして、投資元本が保証されているものではありません。投資信託は、預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の保護の対象ではありません。購入の申込みにあたりましては「投資信託説明書（交付目論見書）」および「契約締結前交付書面（目論見書補完書面等）」を販売会社からお受け取りの上、十分にその内容をご確認頂きご自身でご判断ください。

投資信託に係わる費用について

購入時に直接ご負担いただく費用	購入時手数料	上限3.78%（税込）
換金時に直接ご負担いただく費用	信託財産留保額	上限0.5%
投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用	運用管理費用（信託報酬）	上限年2.16%（税込）
その他費用	上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。「投資信託説明書（交付目論見書）」、「契約締結前交付書面（目論見書補完書面等）」等でご確認ください。	

- ◆ 上記に記載のリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。
- ◆ 費用の料率につきましては、HSBC投信株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。
- ◆ 投資信託に係るリスクや費用はそれぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、かならず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

HSBC投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第308号

加入協会 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/日本証券業協会



ホームページ

www.assetmanagement.hsbc.com/jp



電話番号 03-3548-5690

（受付時間は営業日の午前9時～午後5時）

【当資料に関する留意点】

- ◆ 当資料は、HSBC投信株式会社（以下、当社）が投資者の皆さまへの情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品の売買を推奨・勧誘するものではありません。
- ◆ 当資料は信頼に足ると判断した情報に基づき作成していますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。
- ◆ 当資料の記載内容等は作成時点のものであり、今後変更されることがあります。
- ◆ 当社は、当資料に含まれている情報について更新する義務を一切負いません。